

溝渕 雅幸 監督作品

四万十

いのちの仕舞い



生まれながら死ぬ
単純な
ことながら



助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 後援: ホスピス財団 特別協賛: 吉村 昌也 旭食品 株式会社ナカニシヤ出版 株式会社アサヒ・ファミリー・ニュース社
協賛: 高知銀行 高知フィルムコミッション 高知フィルムコミッション 高知フィルムコミッション 高知フィルムコミッション 高知フィルムコミッション 高知フィルムコミッション 高知フィルムコミッション 高知フィルムコミッション 高知フィルムコミッション
製作統括: 藤原 恒次 語り: とりばみ はる 音楽: ザビエル大村 イラスト: 溝渕 真一郎 川柳・題字: 小笠原 望 撮影: 長谷川 智章 録音・整音: 山下 彩 制作: 金城 恒次 映像技術: 馬場 良治 サウンドミキサー: 吉田 一郎
撮影協力: 一般社団法人四万十市観光協会 / 高知フィルムコミッション / 新ロイヤルホテル四万十 / 四万十川屋形船なっとく / 高松赤十字病院 / 番倉川柳本社 技術協力: 有限会社ガリレオクラブ / 株式会社NHKメディアテクノロジー / 有限会社ゴコロザン / 株式会社東京現像所 / アスツナグエイソウ / Ballast9落合通史 制作: R's STAFF 製作・配給: 株式会社ディンギーズ 2017年 / 日本 / カラー / 4KDCP / 108分



四万十川の美しい自然を背景に
患者と医師の交流を描く。
いのちの営みといのちの看取りを
感動的に撮ったさわやかな作品。
自然、人、いのち、医療の4本柱が
しっかりと観る者のところをとらえる。

ホスピス財団理事長
淀川キリスト教病院理事長
柏木 哲夫

しあわせと思えたら、それがしあわせ

町の中央を大河四万十が流れる高知県四万十市。
人々はその恩恵や時には脅威を受けながらも川と共に生きている。
四万十川流域の人々を医療の面で支える内科医の小笠原望さん。
彼が営む診療所には、毎朝早くから大勢の人が訪れる。
その一人ひとりに優しく語りかけ、話を聴き、そしてみる。
診療所に来られない人やその家族は、
家や入居する施設へ往診する。
病を診るのではなく、患者さんをその家族も含め丸ごとみて、聴く。
大河四万十の流域で、人と自然の「いのち」に寄り添う、
小笠原望さんの日々を追う。

ひとのいのちも自然のなかのもの
「人間はすごい、人間って切ないねえ」と、
ぼくはいのちと格闘してきました。
「ひとのいのちも自然のなかのもの」と、
ぼくの医療観を変化させてくれた四万十の自然とともに、
溝淵監督が映画にしてくれました。
想いが届いたらうれしいです。

小笠原 望

便利さと豊かさ幸せと
快適な生活環境と物質的に満たされることで、
人は幸福になれるのか？
本作の字幕翻訳を担当したババ・マサノリ氏は
「いのちの仕舞い」を「THE PEACEFUL DEATH」と訳した。
この壮大なテーマについてのひとつの解と思えてならない。

監督 溝淵 雅幸



“いのちの仕舞い”とは 四万十のことばで、食べられて、痛くなくて、
みんなと話ができて、なじみの人の中で最後を迎えること。

日時：2019年2月23日（土）14:00～15:50（13:30 開場）

入場無料

会場：紀南文化会館 4階 小ホール

和歌山県田辺市新屋敷町1番地 (TEL: 0739-25-3033)

主催：田辺圏域在宅医療・介護連携支援センター

和歌山県田辺市新屋敷町1番地の8 田辺市医師会館3階 TEL:0739-34-3316 FAX:0739-34-3326

E-mail:tanaberenkeishien@m.speedia.jp URL:https://www.tanabe-kenniki-ikr.jp

この事業は平成30年度田辺圏域在宅医療・介護連携推進事業として実施するものです。